

2011年5月4日～6日 燕岳雪山登山ー1

レポート by 熊本

一年振りに「クマさん会」で残雪期の燕岳（2763m）登山を企画し、参加者は残雪北アルプス登山初挑戦の岡部さん、二度目になる小野寺さん、吉松さん、堀さん、3回目の能勢さん、4回目の熊本の6名パーティーとなった。初日4日（水）は標高約1400mにある有明温泉「有明荘」に前泊し登山準備をする。



新宿 7:30 発の「あずさ3号」に乗るため、小野寺さん、熊本の二人は出発 30 分前に 10 番線ホーム 3 号車（自由席）の先頭で並ぶ。始発駅は千葉駅で船橋、錦糸町を経て新宿に来る。

出発 10 分程前に「錦糸町駅」で自由席は 8 割埋まったとアナウンスがあった。我々の後ろには 20 数人が並んでいた。



何とか小野寺さん熊本は隣席で確保が出来たが、出発時には満席となり、デッキに数名座れない人が立って出発した。



甲府駅過ぎたところで「甲斐駒ヶ岳」



小淵沢を過ぎたところで「八ヶ岳」



松本駅から大糸線に入ると進行左手の車窓には北アルプスの嶺峰が連なる。

中央に大きく存在感を主張する「常念岳 2857m」その右手には「大天井岳 2922m」

穂高駅に 10:55 到着。ここで岡部さん、能勢さん、堀さんと合流し、既に待っていた乗合バス (¥1700) に乗り、中房温泉に向かって走り出す。



約 50 分で標高約 1400mにある有明温泉「有明荘」に入る (12:00)。



チェックインは 15 時であるため、食堂で昼食を採ってから裏山のハイキングコースで足慣らしに出かける。



曲沢には野生の猿が数多く餌をあさっている。



最初は「たるさわの滝」でこれが有明荘の天然飲料水となり、これが冷たくて旨い。

水割りには最高の天然水だ。



更に登ると「三段の滝」への標識が現れる。



細い道を登ると・・・



三段の滝が現れる。



三段の滝を眺める右から堀さん、能勢さん、岡部さん、小野寺さん



「まだ時間が早い」と、明日の登山口まで下見に行くことにする。



標高 1462m、ここが「燕岳登山」合戦尾根ルートの登山口になる。



明日の登山口を確認して有明荘に戻る。



チェックインまでまだ時間があり、先に温泉に入る。

硫黄泉で源泉 71 度と高く、加水しているが源泉掛け流しで湯量も豊富。

露天風呂も大きく気持ちが良い。

入浴後、大広間で生ビールで一杯やっていると、仕事明けから直行して駆けつけた吉松さんが到着し、これで 6 名全員が集まった。



18 時夕食、明日の燕岳登頂の前夜祭で冷酒「大雪溪」で乾杯。



明日の登頂を夢見て 21 時就寝となる。